

筑波大学留学生センター日本語・日本事情遠隔教育拠点事業

<http://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten/>

概要

日本語・日本事情学習・教育用デジタルコンテンツを集積し、全国の大学等の日本語・日本事情教育機関が利用できるシステムを開発して、日本語教育の効率化に資する。また、コンテンツ開発のノウハウを蓄積し、共同利用拠点としての体制を確立する。

目的・目標

視聴覚教材開発、ICTによる日本語教育で蓄積した知見、リソースを発展させ、日本語教育コンテンツが活用できるようにし、国内外の日本語・日本事情教育の効率化及び発展に寄与する。

必要性

遠隔教育による日本語・日本事情教育リソースの共同利用推進を通じ、留学生受け入れと高度人材獲得に向けた国を挙げた体制の整備が必要

波及効果

各教育機関で培ったノウハウを集約し、我が国の留学生獲得の国際競争力向上に寄与する。

事業の取組

コンテンツ作成

コンテンツ作成・システム開発体制整備

コンテンツ作成・システム開発を自前のできる体制を整備

コンテンツの集積

筑波大学がこれまで開発してきた様々な日本語教育用コンテンツをウェブ化し、共同利用する。

システム開発

ユニバーサルデザインのシステム

ウェブを経由して、誰でも簡単に使えるシステムを開発するとともに配信用のウェブサーバシステムを構築する。

日本語学習コンテンツの提供

- 渡日前：日本語・日本事情教育の充実
- 渡日後：初級日本語の自律学習を支援するウェブコンテンツを提供

人材養成・普及

人材養成

コンテンツ作成・システム開発のノウハウを開示するとともにワークショップを開催し、ノウハウの共有を図り、人材養成に寄与

啓蒙活動

国内外の潜在的な利用者に対し、本事業の内容・意義についての情報提供を行い、共同利用拠点の活用を促す



e-Learning for Japanese at University of Tsukuba

筑波日本語 eラーニング

留学生のための日本語e教材

ベータ版テスト公開のお知らせ <http://e-nihongo.tsukuba.ac.jp>

まな 教材「学ぶ」



アカデミック日本語を学ぼう

日本の大学生生活に必要な日本語、日常生活のために必要な日本語を学ぶことができます。

ステップバイステップで学ぼう

ひらがなやカタカナから学ぶことができます。日本語をはじめて学ぶ人も、一人で勉強できます。

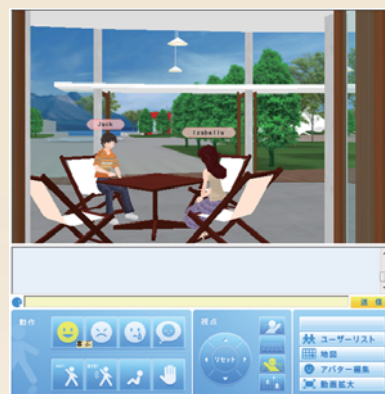
か 教材「書く」



日本語で作文を書いてみよう

日記方式で日本語を書いて、学生同士または学生と先生でコメントしあうことができます。

はな 教材「話す」



仮想空間で話してみよう

ウェブ上の仮想空間で、日本語で話すことができます。音声や文字チャットでのリアルタイムコミュニケーションが体験できます。

筑波大学留学生センター日本語日本事情遠隔教育拠点では、開発中の日本語初級教材「筑波日本語eラーニング」のモニター版を公開致します。モニター利用にご協力いただける研究・教育機関を募集致します。教材「学ぶ」と教材「書く」がご利用いただけます(教材「話す」はモニター公開の対象ではありません)。モニター公開の利用規約等は上記URLをご覧ください。また個人単位での利用は平成26年度の一般公開以後になりますので、ご了承ください。